

アコム株式会社

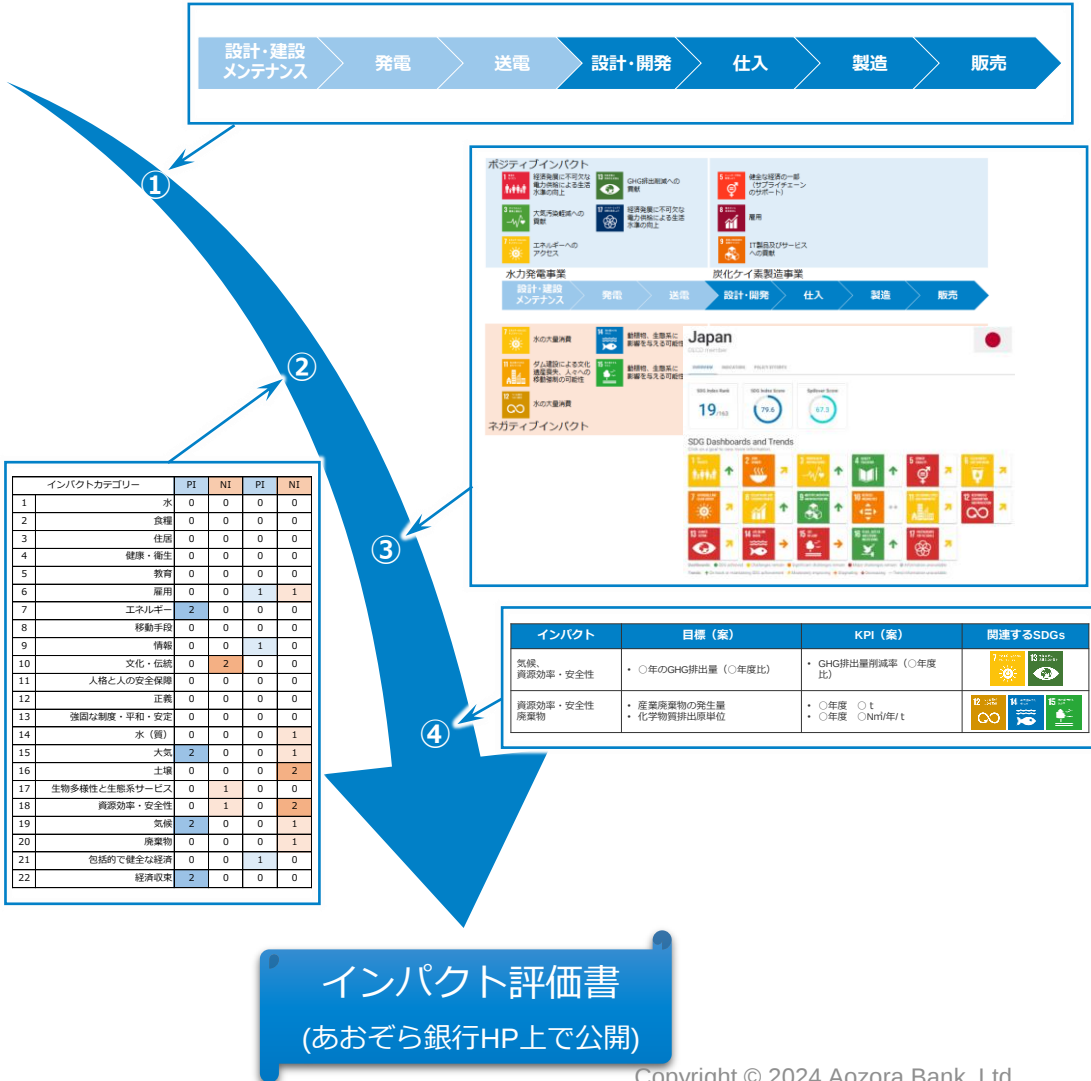
インパクト評価書

2024年12月30日

インパクト分析フロー

- 下記のフローで当社のインパクト（環境・社会・経済に与える影響）を分析しました。

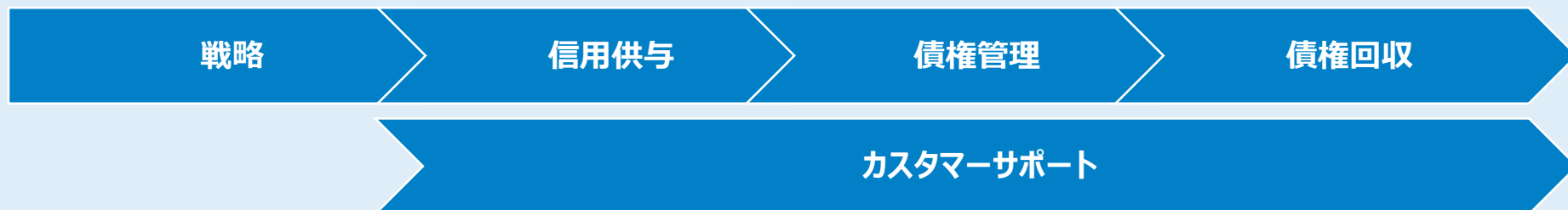
工程	内容
① バリューチェーン分析	事業を各工程で区切り、価値創造プロセスを整理することで、インパクト分析の下地を作ります。
② インパクトマッピング	国際標準産業分類（ISIC）を用いて、業種別の一般的なインパクトを22項目で確認します。
③ インパクトの特定	①、②、そしてヒアリング結果等からインパクトを特定し、SDGsとの関連性や社会的なニーズ等との整合を確認します。
④ 目標・KPI設定	特定したポジティブインパクトが増大、あるいはネガティブインパクトが抑制されるような目標とKPIを設定します。



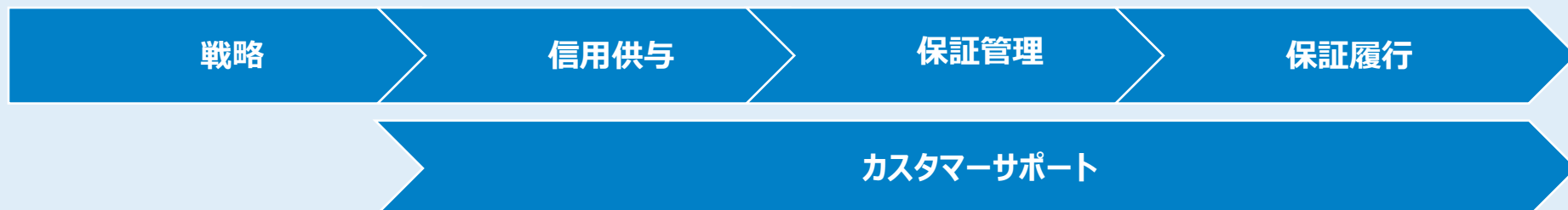
- 公表資料ならびに当社へのインタビューから、当社グループの事業分野のうち、ローン・クレジットカード事業、海外金融事業、信用保証事業について、バリューチェーン*分析対象としました

*当社グループの事業活動が付加価値を生み出す一連の流れ

①ローン・クレジットカード事業、海外金融事業

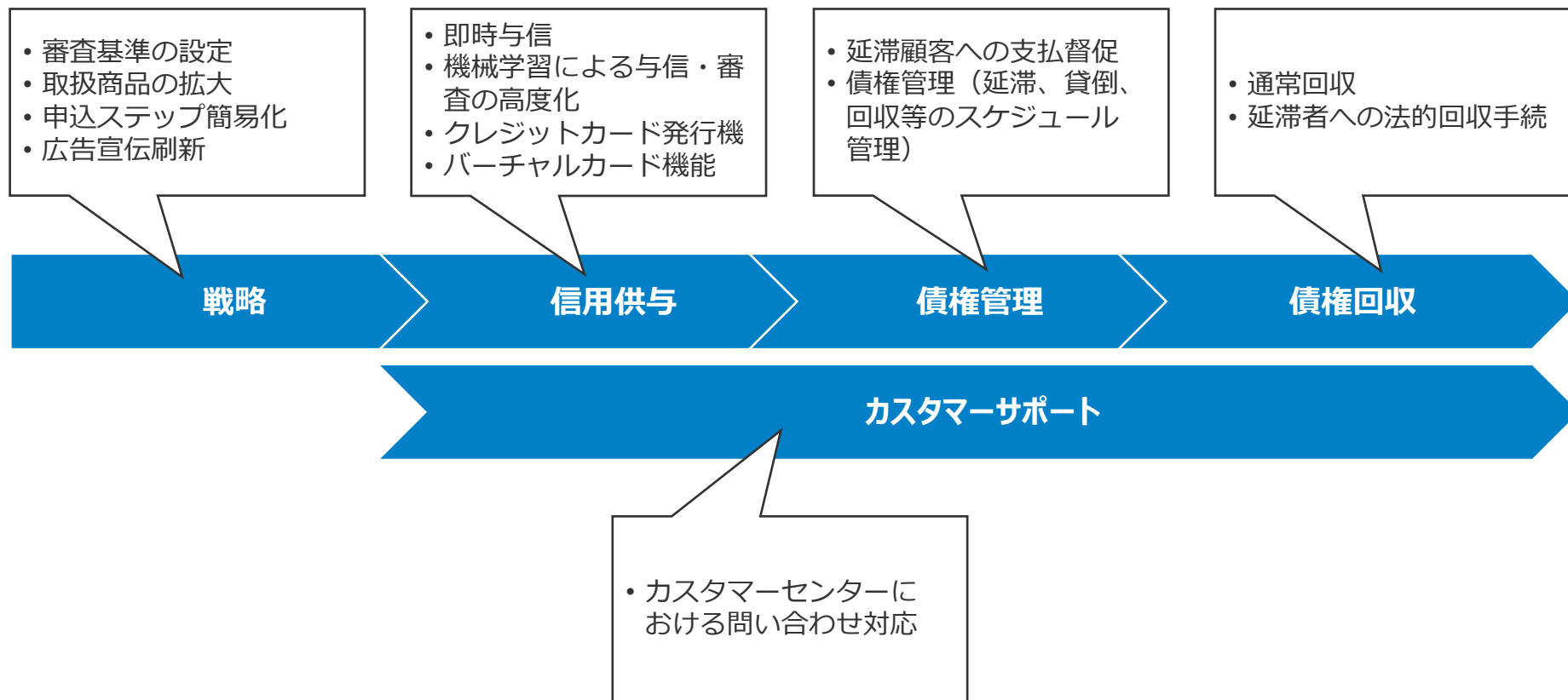


②信用保証事業



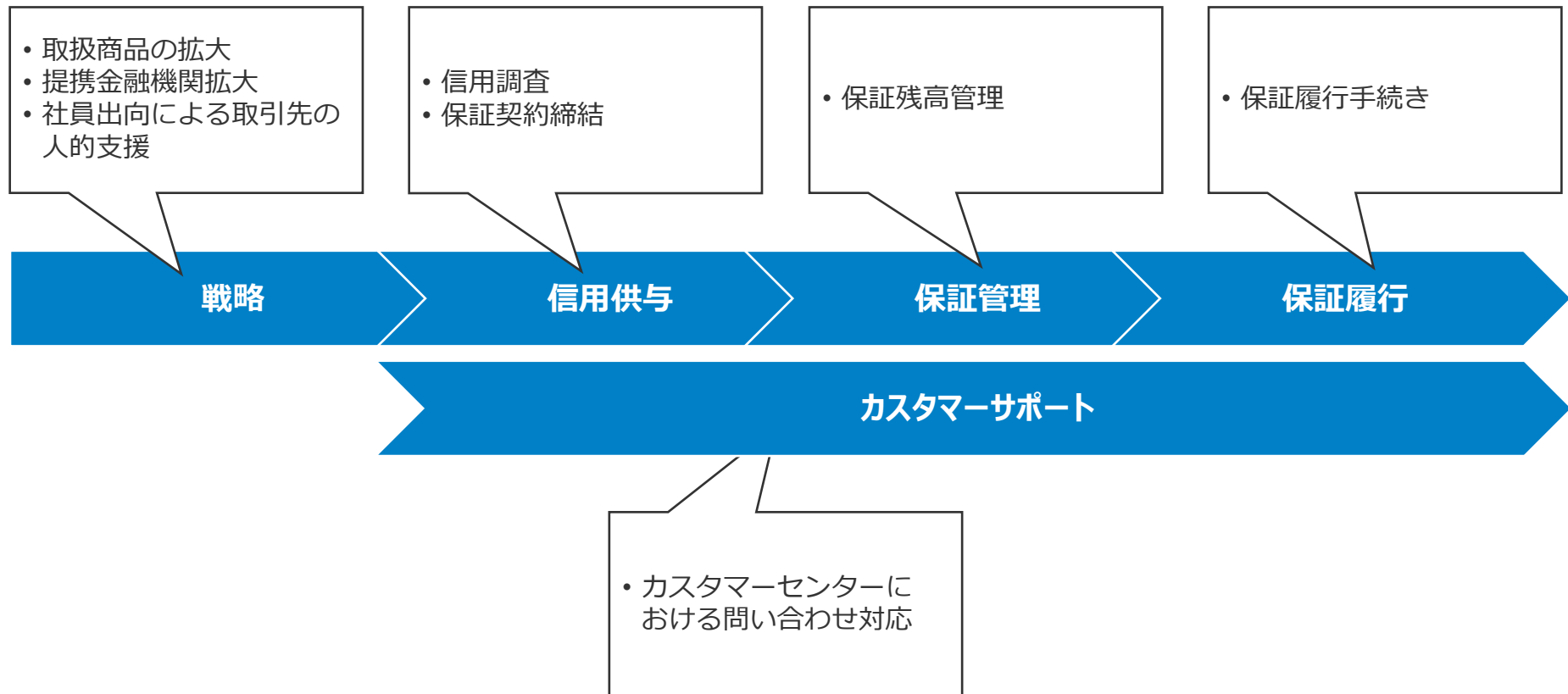
- ・ 当社グループ事業：ローン・クレジットカード事業及び海外金融事業のバリューチェーンの各ステップにおける具体的な業務内容は以下の通りとなります

当社グループ事業：ローン・クレジットカード事業、海外金融事業



- ・ 当社グループ事業：ローン・クレジットカード事業及び海外金融事業のバリューチェーンの各ステップにおける具体的な業務内容は以下の通りとなります

当社グループ事業：信用保証事業



- ・ 特定した当社グループの事業分野について、国際標準産業分類（ISIC）における産業分類に紐づけました
- ・ その上で、UNEP FIのマッピングシートを用い、以下産業分類の一般的なインパクトを特定しました

当社グループ事業：ローン・クレジットカード事業、海外金融事業

⇒ ISIC：64432 消費者金融

PI補足	PI	インパクトカテゴリー			NI	NI補足
		①	水	①		
		②	食糧	②		
		③	住居	③		
		④	健康・衛生	④		
		⑤	教育	⑤		
消費者金融の仕事	1	⑥	雇用	⑥		
		⑦	エネルギー	⑦		
		⑧	移動手段	⑧		
		⑨	情報	⑨		
		⑩	文化・伝統	⑩		
		⑪	人格と人の安全保障	⑪		
		⑫	正義	⑫		
		⑬	強固な制度・平和・安定	⑬		
		⑭	水（質）	⑭		
		⑮	大気	⑮		
		⑯	土壌	⑯		
		⑰	生物多様性と生態系サービス	⑰		
		⑱	資源効率・安全性	⑱		
		⑲	気候	⑲		
		⑳	廃棄物	㉔		
経済機能に不可欠な個人の金融へのアクセス	2	㉔	包摂的で健全な経済	㉔	1	債務超過リスク
		㉔	経済収束	㉔		

（凡例）PI：ポジティブ・インパクト、NI：ネガティブ・インパクト、2：影響大、1：影響あり、空：影響なし

- ・ 特定した当社グループの事業分野について、国際標準産業分類（ISIC）における産業分類に紐づけました
- ・ その上で、UNEP FIのマッピングシートを用い、以下産業分類の一般的なインパクトを特定しました

当社グループ事業：信用保証事業

⇒ ISIC：6492 その他の信用供与機関

PI補足	PI	インパクトカテゴリー			NI	NI補足
		①	水	①		
		②	食糧	②		
		③	住居	③		
		④	健康・衛生	④		
		⑤	教育	⑤		
生計の維持	1	⑥	雇用	⑥	1	労働条件
		⑦	エネルギー	⑦		
		⑧	移動手段	⑧		
		⑨	情報	⑨		
		⑩	文化・伝統	⑩		
		⑪	人格と人の安全保障	⑪		
		⑫	正義	⑫		
		⑬	強固な制度・平和・安定	⑬		
		⑭	水（質）	⑭		
		⑮	大気	⑮		
		⑯	土壌	⑯		
		⑰	生物多様性と生態系サービス	⑰		
		⑱	資源効率・安全性	⑱		
		⑲	気候	⑲		
		⑳	廃棄物	㉔	1	事務所から出る廃棄物
経済活動を可能にする	1	㉔	包摂的で健全な経済	㉔		
		㉔	経済収束	㉔		

（凡例）PI：ポジティブ・インパクト、NI：ネガティブ・インパクト、2：影響大、1：影響あり、空：影響なし

	インパクトカテゴリー	ローン・クレジット事業、 海外金融事業		信用保証事業	
		PI	NI	PI	NI
入手可能性、アクセス可能性、 手ごろさ、品質（一連の固有の 特徴がニーズを満たす程度）	① 水				
	② 食糧				
	③ 住居				
	④ 健康・衛生				
	⑤ 教育				
	⑥ 雇用	1		1	1
	⑦ エネルギー				
	⑧ 移動手段				
	⑨ 情報				
	⑩ 文化・伝統				
	⑪ 人格と人の安全保障				
	⑫ 正義				
	⑬ 強固な制度・平和・安定				
質（物理的・化学的構成・性質） の有効利用	⑭ 水（質）				
	⑮ 大気				
	⑯ 土壌				
	⑰ 生物多様性と生態系サービス				
	⑱ 資源効率・安全性				
	⑲ 気候				
	⑳ 廃棄物				1
人と社会のための経済的価値創造	㉑ 包摂的で健全な経済	2	1	1	
	㉒ 経済収束				

（凡例）PI：ポジティブ・インパクト、NI：ネガティブ・インパクト、2：影響大、1：影響あり、空：影響なし

・ インパクトマッピングの22項目のカテゴリとSDGsは、以下のように対応しています

		SDGs																
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
インパクトカテゴリー																		
①	水						●											
②	食糧		●															
③	住居											●						
④	健康・衛生			●														
⑤	教育				●													
⑥	雇用								●									
⑦	エネルギー							●										
⑧	移動手段											●						
⑨	情報									●								
⑩	文化・伝統											●						
⑪	人格と人の安全保障										●							
⑫	正義																●	
⑬	強固な制度・平和・安定																●	
⑭	水（質）						●											
⑮	大気			●														
⑯	土壌															●		
⑰	生物多様性と生態系サービス														●	●		
⑱	資源効率・安全性							●					●					
⑲	気候													●				
⑳	廃棄物												●					
㉑	包摂的で健全な経済					●			●									
㉒	経済収束	●																●

出所：環境省「インパクトファイナンスの基本的考え方」より当行作成

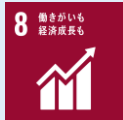
- インパクトがあると判定されたカテゴリとSDGsを対応させた結果、下図のように整理されました

当社グループ事業：ローン・クレジットカード事業、海外金融事業 ⇒ ISIC：64432 消費者金融

ポジティブインパクト



- 経済機能に不可欠な個人の金融へのアクセス



- 経済機能に不可欠な個人の金融へのアクセス
- 消費者金融の仕事

ネガティブインパクト



- 債務超過リスク



- 債務超過リスク

- インパクトがあると判定されたカテゴリとSDGsを対応させた結果、下図のように整理されました

当社グループ事業：信用保証事業 ⇒ ISIC：6492 その他の信用供与機関

ポジティブインパクト



- 経済活動を可能にする



- 経済活動を可能にする
- 生計の維持

ネガティブインパクト

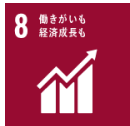


- 債務超過リスク



- 債務超過リスク

- 以上のような分析結果を基に、インパクトマッピングにより特定されたインパクトについて、当社グループが定めるサステナビリティ基本方針、マテリアリティ等との整合性を踏まえ、目標・KPIを以下のように選択し、設定しました
- 目標期限到来後の新たな目標・KPIの設定については、当社グループに対して実施するモニタリングを踏まえて更新してまいります

インパクト	目標	KPI	関連するSDGs
包摂的で健全な経済 (PI, NI)	• 営業債権残高のうちローン・クレジットカード事業に係る残高 2025年3月までに9,842億円	• 営業債権残高のうちローン・クレジットカード事業に係る残高	
雇用 (PI, NI)	• 係長以上に占める女性労働者の割合 2025年3月までに25.0% • 管理職に占める女性労働者の割合 2025年3月までに9.0%※ • 育休取得率（男性、女性） 男女ともに100%※	• 係長以上に占める女性労働者の割合 • 管理職に占める女性労働者の割合※ • 育休取得率（男性、女性）※	

（凡例）PI：ポジティブインパクトの拡大、NI：ネガティブインパクトの抑制

※ 2023年10月に作成したインパクト評価書において設定済の目標・KPIに、新たに追加したものです



ご留意いただきたい事項

- 本評価書の内容は、あおぞら銀行がその裁量により信頼できると判断した現時点で入手可能な公表資料や借入人へのヒアリングを通じて収集した情報に基づいて、現時点での状況进行评估し作成されたものですが、あおぞら銀行は、当該情報の正確性、適時性、網羅性、完全性及び特定目的への適合性その他一切の事項について表明または保証するものではなく、当該情報を使用した結果について一切の責任を負いません。
- あおぞら銀行は、法律、会計、税務等の専門的資格を求められる内容に関しアドバイスをを行う立場にありません。これらの専門的内容等につきましては、独立したそれぞれの専門家にご相談願います。
- 本評価書に係る一切の権利はあおぞら銀行が保有しています。本評価書の全部または一部をあおぞら銀行に無断で複製、翻案、改変等することは禁止されています。